進路だより No.19

－平成２７年１２月２２日－

貝塚市立第一中学校　進路通信
〒597-0071 貝塚市加神１丁目５番１号
TEL 072-422-1527　FAX 072-422-1271

生徒と保護者のための進路情報です。保護者の方も必ずご覧ください。

勝負の冬休み……焦らず欲張らず、とにかく「やる」

冬休みは高校受験前にまとまった時間の取れる最後のチャンスです。あとで後悔することのないよう、きちんと計画を立てて臨みましょう。

ステップ１　「何をやるか」を決めよう

自分の課題は何かを考えて、冬休みにやるべき内容をはっきりさせましょう。特にこの時期は、本番の試験でより高い点数を取ることを念頭において取り組むことが大切です。本番での得点力アップのための三本柱は、「過去問」・「暗記」・「復習」です。

＜過去問＞「出題傾向をつかむ」「本番の解答ペースをつかむ」のが目的です。ただし答え合わせをして終わりにするのではなく、あとで必ず弱点補強をしましょう。また、実技試験がある人は、練習をして先生にみてもらいましょう。

＜暗記＞　理科・社会、英単語や漢字、数学の公式等の知識を確実なものにしましょう。表にまとめ、トイレや自分の部屋に貼って覚えたら貼り替える「どこでも暗記法」、見てすぐわかる「暗記ノート」、問題の解法をまとめた「弱点ノート」等が有効です。時間が限られているのでつくるのにあまり時間をかけず、テキパキと行うことが大切です。

＜復習＞　問題集は薄いものに限ります。苦手な単元をチェックし、重点的に取り組みましょう。解けなかったり、理解があやふやだったりした場合は、復習してから数日後に同じ問題をもう１度解いてみましょう。解けたら類題や発展問題に進み、解法の基本パターンをしっかり覚え込みます。計算はスピードと正確さを高めましょう。

ステップ２　優先順位をつけよう、何に重点的に取り組むかを決めよう

限りある時間を有効に使い、必要なことをやり残さないよう、やるべきことをすべて書き出して確認し、優先的・重点的に取り組むことを決めましょう。

ステップ３　スケジュールを立てよう

冬休みの全体スケジュールを立てやるべきことをそれぞれの日に割り振りましょう。

ステップ４　実行しよう

１日１日ベストを尽くすつもりで確実に実行していきましょう。

冬休みにはこんなこともやっておこう！

●年末の新聞やテレビでは、この１年のニュースをダイジェストで振り返ります。よくチェックして社会や理科の時事問題対策に役立てましょう。

★私立高校受験者は願書の取り寄せ★

私立高校の所在地や様子などを知ることもかねて、冬休み中に志望校へ願書を取りに行ってください。日・祝日は基本的にお休みで、年末年始は12月28日から１月５日ぐらいまで休暇に入る学校が多いようです。休日や午後５時以降も正門の警備員さんが願書を交付してくれる学校がありますので、事前に電話で確認をしてから出かけてください。生徒の様子を観察し、入試の合否に反映する学校もあります。基本的には、制服(標準服)を着用し、身なりや態度・言葉遣いには十分気をつけてください。

入手した願書類にはまだ記入せず、書類の入った**封筒の表の右上に、「クラス」「出席番号」「名前」を記入**して３学期の始業式までに担任の先生に提出してください。受験料の振り込み等は担任の先生から言われるまで待ってください。

清風南海高校・近畿大学附属高校は、ネット出願のため、願書の取り寄せは不要です。

なお、公立高校については統一の様式になるので、中学校で用意します。

保　護　者　の　皆　様　へ

◎個人懇談会等と進路相談について

12月17日～22日の個人懇談会のご出席ありがとうございました。

進路相談を行う第１志望の私立高校を決定したと思います。基本的には12月24日(木)が締切日ですが、最終12月28日(月)の12時までとなっています。志望校(私立高校)を変更する場合は再度、基本的に三者懇談を行う予定です。よろしくお願いします。

なお、個人懇談会で決定した志望校等についてのご質問があれば、早い目に、学校にご連絡ください。

◎貝塚市奨学生募集のお知らせ

貝塚市奨学資金の貸付制度は、向学心に富みながら経済的な理由で、修学の困難なものに学資を貸与して、教育の機会均等をはかることを目的としています。

１．出願資格

①貝塚市に住所を有する世帯主の子弟で、経済的な理由により修学が困難な者。

②学徒として所定の学業が修められる者。

③高等学校、高等専門学校、専修学校(高等課程)に進学しようとする者。

④保護者に係る貝塚市税について滞納がないこと。

２．願書受付期間

平成２８年１月４日(月)　～　平成２８年１月２９日(金)　(期日厳守)

３．貸与額

区　分		入学支度金(１万円単位)
高等学校	国公立	50,000円を限度として希望する額
	私　立	150,000円を限度として希望する額
専修学校 高等課程	国公立	50,000円を限度として希望する額
	私　立	150,000円を限度として希望する額

※申し込み・問い合わせは貝塚市教育委員会学事課(市役所東隣　貝塚市教育庁舎１階)まで。
(TEL 433-7108　学事課直通)